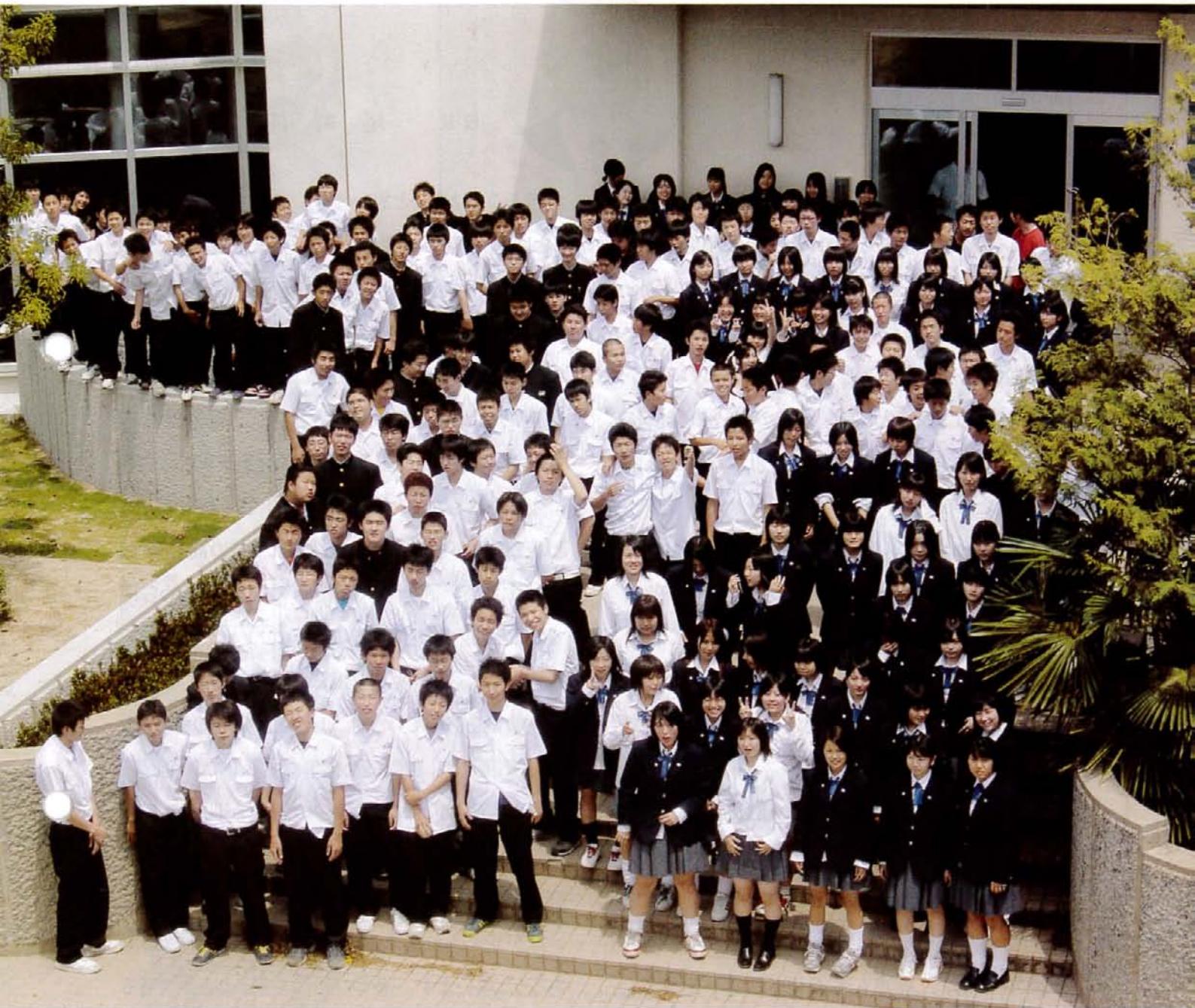


有明高専だより

第110号
2003.6



目 次

校長だより	2
退職教職員より	3
新任教職員紹介	4・5
新入留学生紹介、留学生歓迎会、編入生紹介	6
新入生オリエンテーション	7
研修旅行記	8・9
地域共同テクノセンター・総合研究棟の紹介	10

新入生歓迎行事	11
キャンパスクリーンデー	11
春季球技大会	11
岱明寮だより	12
卒業式・修了式、入学式	13
卒業生の進路・表彰	14
学生表彰・英検合格者	15
トピックス	16
編集後記	16

*本文中に於いて、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。

数字は学年、英字は学科(M:機械工学科、E:電気工学科、I:電子情報工学科、C:物質工学科、A:建築学科、専:専攻科)です。

校長だより

校長挨拶



校長 尾崎 龍夫

今年、本校は創立 40 周年を迎え、4月 18 日に西日本新聞社論説委員中川茂氏の記念講演、翌 19 日には記念式典を行いました。本校の礎を築いて下さった歴代校長はじめ教職員の方々、5,200 名余の卒業生、地元関係者の方々に心から感謝申し上げるとともに、本校の益々の発展に向か、教職員の皆さんとともに努力する決意を新たにしたところです。

さて、平成 12 年度から始まった教育研究施設の改修、整備等が、本年 3 月の総合研究棟の竣工で一段落しました。この 3 年間、工事統括で迷惑をかけて来ましたが、やっと落ち着いた雰囲気の中で、勉学に研究に取り組むことができるようになったと喜んでいます。マルチメディア教育センター や 管理棟の改修、運動施設や周辺の環境整備等、まだまだやるべきことは残されていますが、一つひとつできるだけ早期に実施できるよう努めたいと考えています。

来年 4 月に、高専も法人化される予定です。国立 55 高専が、「独立行政法人国立高等専門学校機構」の下に設置されることになります。教職員は国家公務員ではなくなり、管理運営の仕組みも変わりますが、高専が国立の教育機関であることに変わりはありません。高専における日常の教育研究活動や学校運営も、今までとほとんど同じように行われますので、学生諸君に迷惑を

かけることはないと思います。ここで特筆すべきことは、高専の設置目的が、今までの「高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること。」から、「職業に必要な実践的かつ専門的な知識および技術を有する創造的な人材を育成するとともに、我が国の高等教育の水準の向上と均衡ある発展を図ること。」に変更されることです。「創造的」と「高等教育」という文言が加わったのは、これまでの高専教育に対する高い評価と、今後への期待が込められていると考えることができます。

本校は、来年度 JABEE 認定を申請する予定で、準備を進めています。JABEE 発足の背景は、一言で言えば、国際的な仕事をする上で、「企業」や「技術」より「技術者」の資質が問われる時代になったということができるでしょう。異文化理解を含め幅広い教養、英語によるコミュニケーション力が求められます。読書が最も有力な対策であろうと思います。多くの知識を得ることができるだけでなく、読むことによって論理的な考え方を身につけることができます。まずは、日本語による正確な意志伝達ができることが基本です。

これからは、学生諸君一人ひとりが、卒業時に何をどこまで身につけたかが問われる時代になったのです。学生諸君の自覚と奮起を期待します。

退職教職員より

物質工学科

永田良一 先生

- A1 昭和44年4月から本校にお世話をになりました。着任当時、校門近くの萩尾坂から見上げる校舎は、「丘の上の研究所」、「坂の上の雲」のような感じを受けました。その感じは今も変わりません。また、5年生や専攻科2年生の進路が内定したときの場面等が思い出されます。
- A2 平均的に見た場合、勉学に対する取り組みに気迫・努力が不足してきているように感じられます。将来の自分をイメージして、それを日々忘ることなく、その夢に向かって努力をして頂くことを切望しています。
- A3 今後は、現役時代にできなかった幾つかの事に挑戦してみる予定です。最後に、卒業生や在学生、先生方、事務職員の皆様方のご発展とご幸運を心より祈念申し上げます。



建築学科

三宅昭春 先生

- A1 着任以来28年間、そのうち約15年間を担任、学生・教務主事補そして学科長の仕事をしてきました。その間、多くの思い出があつたはずですが、どうしてもいい思い出が薄れて全く出てきません。10月に完成した新校舎はパリアフリーとなり、僅か半年間ではありましたが、大変快適に過ごすことができ、いい思い出となりました。
- A2 5年間の学生生活を有意義に過ごすためには、まずは健康でなければなりません。バイク通学の学生諸君、くれぐれも交通事故には気をつけてください。
- A3 今後これまでに出来なかつたことをまとめること、在職中パソコンの構築等すべて人任せだったので、これから少しは勉強しなければと思っています。最後になりましたが、皆様の今後のご健康とご活躍をお祈りします。



建築学科

中野浩志 先生

- A1 担任したクラスが球技大会の種目のひとつで優勝した後、なぜか学生から胴上げされました。嬉しかったのですが、同時に床に落ちるのではないかと恐かったことも、今ではいい思い出です。
- A2 初めて有明高専を訪れたときに、見ず知らずの学生から挨拶されたことが未だに忘れられません。互いに気持ち良く挨拶を交わす習慣は保ち続けて欲しいと思います。ただ、体育祭の入場行進の途中での敬礼は、ファシスト式に感じますので改めては如何でしょうか。少々気になります。
- A3 先ずは論文をまとめるつもりです。大牟田には今後もNPO活動を通じて関わり続けますので、何かの機会にお会いできると嬉しいですね。



平成15年3月をもって、退職された6名の教職員の方に、次の3点について述べていただきました。

- Q1. 高専で最も思い出に残ることは?
Q2. 高専あるいは学生について望まれることは?
Q3. 今後のことについて一言

一般教育科

川上龍男 先生

- A1 在任8年間で唯一担任をした平成8年度入学の機械工学科の学生諸君は、一人ひとりが個性豊かな中に思いやりも豊かで心に残る素晴らしいクラスでした。学生相談室での3年間は、相談内容の一つひとつが新鮮でその対応の全てが鮮明な思い出です。
- A2 学生諸君は皆卓越した能力を持っていて努力次第でもっと大きく飛躍できる人材だと思います。「鉄は熱いうちに打て」という諺がありますが、打つ方も打たれる方も相手のことをよく思いやりながら、今一度自分に厳しく対処できるようにならいいなと思います。
- A3 週に3日は近くの大学を行っていますが、余暇もぐんと増えました。多趣味（音楽・映画・金魚…）で凝り性ときていますので、そのうち年を忘れて何かにのめり込んでいくことでしょう。最後になりましたが、有明高専の益々の発展を祈念いたします。



建築学科

森山恵香 先生

- A1 卒業研究の発表会で、先生方の質疑に答える卒研生をドキドキしながら見守ったこと。終業式の翌日、4Aの学生諸君による思いがけぬ送別の席は、高専最後の良き思い出です。
- A2 体育祭や球技大会で見せる学生諸君の生き生きとした姿は、とても素晴らしいと思います。改善すべき点はあるでしょうが、その情熱をいつまでも持ち続けてくれることを望みます。そして、一人ひとりの個性を大切にして、自分の尺度で目標に向かって進んでください。
- A3 4月から熊本大学大学院自然科学研究科に復学して、高専での研究を継続して行っています。研究で高専に顔を出することもあると思います。最後に、教職員の皆様と学生諸君のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。



建築学科

柿原正治 技官

- A1 優秀な学生に会えて、実験や実習を通じて、たくさんの若いエネルギーをもらったこと。
- A2 何事にもチャレンジしてください。
- A3 今は、在職中からしていたことを、思う存分しています。とりあえず、庭いじりと温泉めぐりを楽しんでいます。



新任教職員紹介



電気工学科
出来恭一

- A1** 日本原子力研究所関西研究所光量子科学研究センターで、短パルス固体レーザの研究開発を行っていました。
- A2** 学生と教職員との間が強い信頼関係で結ばれているようなよい雰囲気を感じます。先生方も学生のことを詳しく把握しておられ、感心しています。
- A3** ウォーキング、ジョギング、合気道（祥平塾大牟田道場に通い始めました）、テニスなど体を動かすことです。
- A4** “本質をわかりやすく”を心がけ教育に努力したいと思っています。また、レーザ関連の研究も続行し、学生の皆さんとともによい成果を上げられればと思っています。



物質工学科
藤本大輔

- A1** 今年の3月まで京都大学大学院人間・環境学研究科人間・環境学専攻の博士後期課程の学生でした。大学院では、有機結晶化学を利用したキラル有機化合物の光学分割に関する研究を行っていました。
- A2** 元気のよい学生達ときれいな学校が印象的です。また、九州地方に住むのは初めてのことでもあり、こちらに来た当初は方言に戸惑いました。ただいま大牟田弁を猛勉強中です。
- A3** 学生の頃に趣味がこうじて小さなビリヤード大会を開いていました。また顧問になったということもあり、最近テニスを始めました。
- A4** 初めてのことばかりで至らないことがあるかもしれません、自分らしさを存分にして精一杯頑張りたいと思います。



建築学科
下田誠也

- A1** 熊本大学大学院自然科学研究科博士後期課程（環境共生科学専攻）の学生でした。さらに5年前は八代高専専攻科環境建設工学専攻の学生でした。
- A2** 私も高専出身なので、学校全体の雰囲気に親しみを持ちました。また、のびのびとしていて元気よくあいさつしてくれる学生が多いという印象を受けました。
- A3** 学生時代から続けている陸上競技と釣りです。あと九州の温泉巡りにもよく行きます。
- A4** 教育と研究を両立させていくことは難しいのですが、一生懸命頑張っていきたいと思います。そして、早く一人前の教官になれるように頑張ります。



物質工学科
永田和美

- A1** 熊本大学大学院自然科学研究科物質科学専攻の博士前期課程の学生でした。熊大には大学3年から編入学し、その前は有明高専の物質工学科の学生でした。学生会長だったんですよ。
- A2** よりいっそう女子学生が増えていることに驚きました。いつの時代も女子の方が元気な気がします。校舎は昔と全然違うので少しだましい気もしましたが、ずいぶんと使い勝手がよくなっているので快適思います。
- A3** 風景などの写真を撮るのが好きです。またビーズでアクセサリーを作ったりもします。
- A4** 教育と研究の両立はとても大変なことだと思いますが、一生懸命がんばります。また元高専生として学生のよき相談相手になればいいなと思っています。

本年度、新たに教官5名、職員4名の方が赴任されました。
そこで4つのことをお聞きしました。

- Q1.本校に来る前は…
- Q2.本校あるいは本校学生の印象について
- Q3.趣味は…
- Q4.抱負をひとつ



建築学科
加藤浩司

- A1** 平成14年3月、千葉大学大学院博士課程を修了(専門:都市デザイン・計画、コミュニティデザイン)。その後1年間は、同大学院研究生に籍を置かせてもらい、千葉県内のまちづくり活動に、いくつか出入りしていました。ちなみに、「高専」という環境に身を置くのは、初めての体験です。
- A2** 直感的に、2つのことに驚きました。一つ目は「多彩な“キャラ”が揃ってる!」こと。もう一つは「縦横の“つながり”がある!」こと。アタリ・ハズレは別として、みなさんは、これからを大切に育って欲しいなと思っています。
- A3** スポーツやること・見ること。楽しいこと全般。あと、特定のミュージシャンにはまっています。
- A4** みんなの成長を刺激にしながら、一つひとつ頑張っていきますので、よろしくお願ひします。



図書係長
青木良秀

- A1** 九州大学経済学部の図書室にいました。九州大学のいろんな分野の図書館(室)をわたりあるいてきました。
- A2** 学生さんがすごく元気だなということが、第一印象です。大学生より、真面目で意欲的な感じがしました。
- A3** バドミントンを地域のクラブでやってます。他に韓国好きで、韓国語、韓国の料理などをやっています。
- A4** 図書館にいますので、興味があること、わからないこと、それから「勉強に関係ないこと」、気軽に尋ねてください。いっしょに問題を解決していきましょう! 「あそこに行けば、何とかなる」と言われるような図書館にしていきたいです。



庶務課専門職員
古賀精一

- A1** 熊本大学医学部附属病院医事課に勤務していました。
- A2** 初めて有明高専の敷地に入ったときに、緑が多く、のびのびとした雰囲気がとても印象的で非常に環境のいいところだと感じました。また、学生の皆さんの大好きな声での挨拶に元気良さを感じました。
- A3** テニスをやっています。ここ4,5年あまりできなかつたので、体力が落ちてきている現在、もっと積極的にやろうと思っています。
- A4** 初めての高専ですが、有明高専のために役立てるよう努力しますので、よろしくお願ひします。



施設係長
古江亮司

- A1** 九州大学施設部建築課に勤務していました。
- A2** 小高いところにあるのびのびした学校という印象を受けました。
- A3** 音楽鑑賞や旅行などで、とくにヨーロッパの建築巡礼などテーマをもった旅行が好きです。
- A4** よりよい学校づくりに、微力ながら専心努力していきたいと思いますのでよろしくお願ひします。



教務係入試主任
上野裕斗

- A1** 九州大学薬学部学生掛に勤務していました。
- A2** あいさつをしてくれる学生が多いのに驚きました。大学ではあまりこのようなことがなかったものですから。
- A3** 以前、剣道をやっていましたので、機会があれば再開できればと思っています。
- A4** 高専業務は初めてですので、一日も早くお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

新入留学生紹介



電子情報工学科3年
カンキスルン さん

私はカンボジア中央部のカンポンチムというところからきました。カンボジアは東南アジアの中にある一つの国です。熱帯地方にあるので、日本と比べると少し暑いところです。年間の平均気温はおよそ27°Cです。カンボジアで有名な観光地はアンコール・ワットです。実際はアンコールワットはお寺であり、12世紀に造られたものです。

私は今から3年間、有明高専で技術の勉強だけでなく、日本の習慣なども学習するなど、色々なことに頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

物質工学科3年
**エミ
(ルスリザ サーミ ビンティースライマン) さん**

私は東南アジアの中心に位置するマレーシアの首都クアラルンプールからきましたエミといいます。国的人口は日本の約一割で、熱帯性気候に属し、平均気温は26°C前後です。農業と林業が盛んで、一年中果物料理・菓子や野菜がたくさん食べられます。主食のご飯はほとんど手で食べますので、日本で箸を使うのはとても大変です。公用語はマレー語ですが多くの人が英語も話せます。日本との交流も活発なので日本語表示も増えています。

私は昨年の4月に日本に来て工学を勉強したいという希望を持ちました。そして、3年間有明高専で勉強することになりました。「楽あれば苦あり」という言葉をモットーに皆さんと一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

留学生歓迎会

今年は、カンボジアからカンキスルン君（電子情報工学科3年）、マレーシアからエミさん（物質工学科3年）、の2名が新しい留学生としてやってきました。5月19日（月）に、本校修己館において「新入留学生歓迎会」が催されました。新入留学生のそれぞれの母国の様子を含めた丁寧な自己紹介、日本語指導の坂口先生からの激励のスピーチ、吹奏楽部による軽快な演奏、田嶋学生会長による近郊の名所、名店街等の案内などがあり、和やかな雰囲気の中で会は進行しました。学生・教職員のみなさん、二人が充実した高専生活を過ごせるように色々協力して下さい。

（教務主事補 南 明宏）



編入学生紹介



4M 木元 優作
天草工業高校



4E 小川 博久
佐世保工業高校



4E 猿渡 光央
玉名工業高校



4E 本山 譲
八代工業高校



4I 鳥飼 賢治
八女工業高校



4C 尾池 壮一
熊本工業高校



4C 川上 恵
福岡工業高校



4C 西村 敏史
福岡工業高校



4A 堤 勇人
熊本工業高校



4A 上田沙都美
熊本工業高校



4A 山本 沙知
小川工業高校

新入生オリエンテーション

阿蘇研修を終えて

1M 友添祐介

今回の新入生オリエンテーションは、クラスにとっても、自分自身にとっても良い経験になったと思う。今回は集団行動の大切さ、難しさ、厳しさ、楽しさ…たくさんのこと学べた。一つひとつの場所を使うのは自分だけではなく同じ学校の人、または他校の人も使うということをあまり考えていなかったと思う。例えば食事のとき。最初のときはあまり早く食べていなかつたし、食事の後もテーブルの上をふいていなかつた。後で注意されたとき初めて気付いた。その後は気を付けてできたと思う。

2日目には仙酔峠に行った。行く途中は少し大変だった。いろいろな所に牛のウンが落ちたり、狭かったり、道なのか、道じゃないのか、他にもかなりすべりやすかったりと、いろいろと疲れた。向こうに着いてから班のみんなと上まで登った。走って登った。途中いろいろな人達に挨拶をした。みなさんから返事をもらえた。他校の人達から挨拶を返してもらった時もとても嬉しかった。帰りはかなり雨が降って大変だった。

仙酔峠に行したことや食堂での食事、友だちと同じ部屋で寝たこと、風呂に入ったこと、一分間スピーチ、どれも楽しかった。しかし集団行動は、誰かが一人でも遅れたり間違えたりすれば、他のたくさんの人達に迷惑をかけてしまう。だからよく聞いて動かないといけないと思った。

これから的生活でも、その後のことまで、他の人の事まで考えて行動していかないといけないと思った。



阿蘇研修で学んだこと

1A 堀川智代

私達1年生は高専に入学して初めての研修に行きました。修学旅行のようなものだと勘違いしていた私にとってこの3日間の研修はたくさん思い出になるようなことがあったにも関わらず、とても大変なものとなりました。

その大変だったことというのはやはり団体行動でした。学校ではさほどきつくはなかったのに、泊りとなると5分前行動、23時就寝など時間に対してすごく厳しく、また、連帯責任など、気を休めることがなかなかできませんでした。それから服装やマナーなどにも厳しく、私は時々もう早く帰ってしまいたいなどとも思っていました。

しかしこの研修が終わりに近づくにつれ、この団体生活がつらいと思うのは普段自分が親や友達や先生方などに甘えていたからではないかと考えはじめました。私はいつも時間にルーズで、服装もだらけているところがあります。もし普段から時間もきちんと守り、普段から正しい服装をしていたら、この研修はここまで辛いものではなかったはずです。

私は前から自由になりたい、自立したいと思っていました。しかし私はこの3日間で、このように時間や規則を守ることができて初めて自立するというステップに進めるということを感じ、そして自分の今までの甘えを強く実感しました。私はこの貴重な体験を通して感じたこと学んだこと、教えてもらったことをこれから日常生活に生かしていきたいと思います。



研修旅行記

平成15年5月13日(火)～16日(金)

- M デンソー西尾製作所、日本精工株式会社藤沢工場、トヨタ博物館
- E 日本航空株式会社羽田整備工場、株式会社東芝京浜事業所、NHK放送センター
- I 東芝科学館、株式会社テルム、NTTドコモR&Dセンター、NTT横須賀研究開発センター
- C 東レ株式会社滋賀事業所リサーチセンター、ダイキン工業株式会社淀川製作所、株式会社島津製作所三条工場
- A 大阪府近つ飛鳥博物館、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

機械工学科

4M 内田 哲雄

研修旅行は、とても有意義なものになったと思う。工場見学では、みな真剣にわからない事を時間ギリギリまで質問していた。時折担当者を困らせる難しい質問が飛び出しこともあり、就職に対する熱意みたいなものが伝わったと思う。

しかし、天候が悪かったため、観光は面白くなかった。霧でなにも見えない富士山に行って気分が悪くなる人もいた。また、五千円札に描かれているような湖に映る富士山も見ることはできなかった。さらに、自由行動のときも雨だった。テレビで見るのと違う渋谷、マニアのいない秋葉原は本当に期待はずれだった。

家に帰ってこの研修旅行のことを考えてみた。やはり、



4Mは本当にいいクラスだ。いざという時はみなに迷惑をかけないように気を遣うし、時間に遅れる人もいなかった。このクラスだからこそ有意義な研修旅行を送れたと思う。

電気工学科

4E 平川 皓介

僕は今回の研修旅行で様々なことを学んだと思っている。そのうちいくつかを紹介しようと思う。

まず2日目の東芝の京浜事業所では、発電所用の発電機や、誘導電動機の製作現場を見てまわった。その時はちょうど10時の休憩で実際に製作しているところはあまり見られなかつたが、それでも学ぶことは多かつたと思う。同じ日にNHKにも行き、テレビ放送の舞台裏で日々努力している人や、その技術について学ぶことができた。

4日目の最終日には日本航空羽田整備工場に行き、ちょ



うど整備をうけているボーイシング747を見学できた。またエンジン4基の飛行機はエンジンだけで四十億円以上するということだった。



僕はこの研修を通して自分の将来を考える材料にしたいと思う。また、これらのこと自分的生活にも生かしていきたい。

電子情報工学科

4I 宮田 傑介

私達電子情報工学科は東京・横浜へ研修に行きました。

まず最初に見学した東芝科学館では、最新の医療技術やコンピュータなど最先端の科学技術を見て触ることができました。次に行ったのはテルムという環境リサイクル事業をしている会社でした。テレビなど1台1台、部分ごとに手作業で解体しており大変そうでした。2日目は、ドコモR&DセンターとNTTを訪問しました。ドコモでは、私達の身近な携帯電話のことやFOMA技術を体験するこ



とができました。NTTでは、最先端の情報通信技術を見学できました。また、両社とも第4移動通信時代を見据えた未来を予想したビデオを見て、これからはどんどんモバイル社会になっていくのだと思いました。3日目は待望の自由研修。皆、それぞれの東京を満喫できたでしょう。この研修で学んだことをこれからの高専生活にプラスして頑張っていこうと思います。

物質工学科

4C 山田 麻衣

私たち物質工学科は関西にある3社の企業を研修してきました。1日目は大手材料メーカーとして新しい材料を研究している東レを研修し、2日目はノーベル賞で一躍有名となった様々な精密機器等を生産している島津製作所、私たちの日常生活に必要な多くのフッ素化合物を製品にしているダイキンを研修しました。どの会社も決して新しい建物とは言えないのですが、ゴミ一つない綺麗な会社で、また社員の方々一人ひとりが自分の仕事に誇りを持っておら



れるという印象を受けました。研修の最後に「どんな人材を必要としていますか」と質問をすると3社とも同じ答えで「指示されたことだけを淡々とこなすような人間ではなく、自らの意志で進んで行動を起こしてくれるような人が欲しい」という答えが返っていました。この研修で私たちが出来ることを精一杯、頑張っていこうと決意しました。これから残りの高専生活を悔いの残らないよう頑張っていこうと思います。

建築学科

4A 佐藤 望美

5月13日から4日間、一大イベントである研修旅行を行った。私達建築学科は関西方面への研修だった。建築学科らしく、数々の建築物を見て回る旅となった。法隆寺や東大寺などの古いものから、現代的なものまで幅広く見ることができた。法隆寺や東大寺は中学生の頃に訪れた事があったが、今回は建築を学んでの訪問だったので、多くの発見があり、感動すら覚えた。昔の人の技術は想像以上に偉大で繊細だった。古い建物の存在に圧倒された。現代的



な建築物として、有名な建築家の安藤忠雄さんの作品を数点見た。安藤さんの建物には統一したこだわりが感じられる中に独創性があるように感じた。何かを創り出す時には信念が必要なのだとと思った。

4日間の研修旅行は、長いようで短かかった。とても充実したものになった。この旅行で吸収したものは大きい。これから的人生に生かして行きたいと思う。

地域共同テクノセンター・総合研究棟の紹介

地域共同テクノセンターが発足して1年が過ぎました。また、総合研究棟が平成15年3月末に電子情報工学科棟の横に完成し、1階に連携推進室が設けられました。以下に両者の紹介をします。

地域共同テクノセンター

スタッフ紹介

センター長	川瀬良一
副センター長	上原修一(産) 燐山廣志(民)
センター員	明石剛二(産) 松尾明洋(民)
コーディネータ	梅本光政
庶務係	久志 昇 平島洋一
事務員	大曾佳子

※(産)は产学連携担当、(民)は民学連携担当を表す。



有明高専の役割には、教育・研究の他に地域貢献が上げられます。また、地域との交流により、本校の教育・研究の活性化や充実も期待されます。地域共同テクノセンターは、地域の企業や市民の方々と有明高専の教職員や学生の架け橋となることをめざし、以下の活動を行っています。

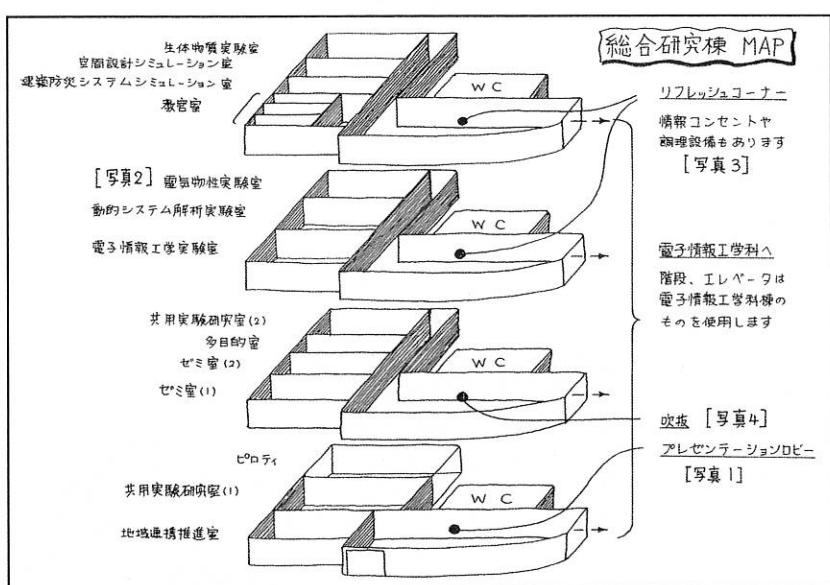
1. 产学連携関係

- (1) 地域企業との共同研究および受託研究・試験を推進します。
 - (2) 技術分科会を企画・運営し、技術者や研究者の交流を支援します。
 - (3) あらゆる技術相談に応じ、専門家をできる限り紹介します。

2 民学連携関係

- (1) 公開講座などを企画・運営し、市民の生涯教育を支援します。
 - (2) 青少年の健全な教育のためのプログラムを企画・運営します。
 - (3) 快適で住み良い町づくりに協力します。

総合研究棟



[4] 吹き抜け



[1] プレゼンテーションロビー



[2] 電気物性実験室



[3] リフレッシュコーナー

4月16日(水)、新入生歓迎行事が行われました。授業終了後、各学科に分かれ、約1時間程度、1年生の自己紹介や先生方の紹介などがあり、しばし和やかなムードで交流を深めることができました。高専生活を過ごすうえで横のつながりだけでなく、縦のつながりは非常に重要なものです。

この有明高専で勉学に励むとともに、すばらしい人間関係を築いていくつて下さい。そして実践力と創造性を備えた立派な技術者を目指して、共に頑張りましょう。

(学生会長 5M 田嶋 大輔)



5月20日(火)、キャンパスクリーン作業が、全校一斉に行われました。

今回から、7時限目まで短縮授業を行い、それから約1時間半をかけて本科生、専攻科生および全教職員が清掃活動に汗を流しました。ここ数年続いていました改修工事や新棟建設工事等も終了したので、久し振りに全領域のクリーン作業となりました。また専門業者や事務職員による、事前の主な剪定、草刈り等のお陰で、当日は草木の回収作業を円滑に行うことができ、予定時間内に終了することができました。参加者全員の協力により、校内が一段ときれいになりました。次回は9月2日に予定されています。

(教務主事補 南 明宏)



今回の球技大会は晴天時の競技で、練習していたチームはそのまま力を発揮できているようでした。初めて、事務・教官チームが優勝、そして専攻科生が出場という、新しい球技大会となりました。下級生が上級生を倒すという自熱した球技大会でした。

(体育局長 5F 吉岡 利通)

春季球技大会成績

最優秀クラス 5M

優秀クラス 5A

種 目	優 勝	M V P
ソフトボール	3 A	江島 裕 司
バレーボール	5 M	日高 史 博
女子バレーボール	3C(a)	黒田 絹 美
ソフトテニス	事務・教官チーム	専修科2年 堀 一 良
卓 球	1 M	小野 純 弥



岱明寮だより

(1) 寮生指導者研修会 in 大牟田ハイツ

4月3日(木)・4日(金)大牟田ハイツで寮生指導者研修を行いました。寮生遵守事項の確認、寮生会・主事室双方からの要望事項の確認、重点目標など寮生会役員とスタッフでじっくり時間をかけて協議し、各自自分のやるべき事を確認するとともに、指導者としての認識を深めることができました。



(4) 寮生球技大会

4/26(土) 9:00~

40周年記念式典が4月19日(土)に実施されたため、例年より1週間ほど遅い週での球技大会でした。前日まで雨のため、体育館内での種目を実施しました。出身地別にチームを作り、男子はバレーと卓球、女子はピーチバレーを行いました。
1年から5年生まで楽しく汗を流しました。



【今年度重点目標】

寮長 本宮竜介(5C)君の発案により、今年度の岱明寮重点目標が以下のように決定しました。

“思いやりの輪”

(2) 入寮式

4/8(火) 12:00~

入学式に引き続き、入寮式が視聴覚教室で行われました。

昨年より8名多い67名の入寮がありました。内訳は男子46名、女子13名の新入生、3年男子学生1名、5名の4年編入生と2名の3年留学生です。

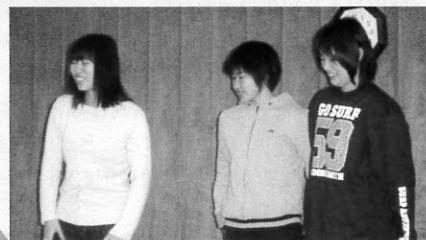
初めての寮生活に対する希望と不安を胸に全員元気よく新生活のスタートを切りました。

(3) 新入寮生歓迎夕食会

4/10(木) 18:00~

関係の先生方に出席いただき、新入寮生の歓迎夕食会が食堂で行われました。

校長先生の歓迎の言葉のあと、新入寮生の元気な自己紹介があり、和やかな雰囲気の夕食会でした。



【岱明寮近況】

平成15年度は男子156名、女子49名、合計205名でスタートしました。寮の近

況を幾つか紹介します。萩尾台は緑に囲まれ周辺に坂道も多いため、高専や寮の場所がわかりやすいように4階建ての桜棟屋上に看板が設置されました。今後、ライトアップをして、効果アップを図る予定です。また、よく見ないと気づかないかも知れませんが正門の改良工事も行われ、見通しの悪かった正門付近の状況が改善されました。その他、男子・女子とも浴室の脱衣場にエアコンが設置され、紅葉棟のベッドが新しいベッドに交換されるなど、住環境の整備が進んでいます。

また、食堂は14年度に引き続き西日本フードサービス(株)になりました。



卒業式・修了式

3月18日(火) 於 第1体育館

3月18日(火)、本校第1体育館において、第36回卒業式および専攻科の第1回修了式が行われました。

機械工学科34名、電気工学科33名、電子情報工学科41名、物質工学科36名、建築学科33名、計177名が卒業、生産情報システム工学専攻14名、応用物質工学専攻4名、建築学専攻5名の計23名が修了しました。

卒業生には、3名の留学生も含まれています。

証書授与の後、尾崎校長、栗原大牟田市長、重村同窓会長からの祝辞に続いて、成績優秀者、精勤者、勤労者の表彰およびクラブ表彰が行われました。そして、田嶋学生会長の送辞、山下麻凡さんの答辭が述べされました。

卒業生・修了生全員、新しい世界への抱負を胸に、本校を卒業していきました。



入学式

4月8日(火) 於 第1体育館

4月8日(火)、本校第1体育館において、第41回入学式が行われました。機械工学科42名、電気工学科41名、電子情報工学科42名、物質工学科40名、建築学科43名、計208名の1年生が入学、留学生2名が3年生に、工業高校卒業生11名が4年生に編入学しました。

入学許可の後、尾崎校長、栗原大牟田市長、前畠荒尾市長からの祝辞がありました。そして、新入生を代表して、物質工学科の林崎彩香さんが誓詞を述べました。

入学生・編入学生全員、本校での新しい学生生活の決意を胸にしたことと思います。



卒業生・修了生



電子情報工学科

日本ファイバー(株)
リコテクノシステムズ(株)
大日本印刷(株)
三菱化学エンジニアリング(株)
東芝エレベーター(株)
藤工業(株)
東日立電子サービス(株)
MTテクノロジーズ
日信電子サービス(株)
㈱九州テン
サイバーコム(株)
西肥情報サービス(株)
電通高砂システムエンジニアリング
ホーサイドシステム(株)
㈱シティーアスコム
大信情報サービス

エヌエスプランニング(株)
信興テクノミスト
日進ソフトウェア(株)
㈱FFCシステムズ
㈱有明ネットコム
日本放送協会
キャノンシステムサポート㈱
セコム(株)
コミー㈱ TBC(東京ピューティセンター)
歯科衛生士
有明高専専攻科
九州工業大学
佐藤ビジネス専門学校
佐賀大学
熊本大学
豊橋科学技術大学

生産情報システム工学専攻

㈱東芝メディカル
富士電気システムズ
日本IBM(株)
本田技研工業(株)
日立ビジネスソリューション(株)
藤工業(株)
日立画像情報システム

㈱半導体エネルギー研究所
㈱前川製作所
日立造船メカニカル(株)
ニチゾウテック(株)
日本コムシス(株)
九州工業大学大学院

機械工学科

(株)アテック・トーア
梅鉢鋼業(株)
大和容器(株)
ユニタック(株)
東芝エレベーター(株)
マツダ産業(株)
㈱前川製作所
川崎重工業(株)
三菱重工業(株)高砂製作所
三菱重工業(株)名古屋製作所
ソニーEMCS(株)湖西テック
中央電子工業(株)
日信工業(株)
㈱名村造船所
㈱テクモ

(株)森精機製作所
JR西日本(株)
三菱ビルテクノ(株)
㈱エージーピー
㈱日立ビルシステム
TOCソリューションズ(株)
九州工業大学
有明高専専攻科
豊橋技術科学大学
佐賀大学
長崎大学

電気工学科

(株)サン電工社
森永乳業(株)
出光興産(株)
㈱アルメックス
㈱前川製作所
東芝エレベーター(株)
日本オーチス・エレベータ(株)
ソニーEMCS(株)幸田テック
日本アイ・ビー・エム(株)
日本電子データム(株)
㈱明電舎
パソニックエンジニアリング九州(株)
㈱半導体エネルギー研究所
トヨタ自動車(株)
マツダ(株)

九州電力(株)
日本放送協会
九州旅客鉄道(株)
㈱エージーピー
鶴屋デパート(株)
福岡ケーブルネットワーク(株)
三菱電機ビルテクノサービス(株)
キャノンシステムアンドサポート(株)
三菱電機システムサービス(株)
富士通サポート&サービス(株)
㈱スパークコミュニケーションズ
九州工業大学
有明高専専攻科
熊本大学

物質工学科

森永乳業(株)
㈱GNI
オギハラ食品(株)
第一精機(株)
東亜石油(株)
ライオン(株)
ダイキン工業(株)
昭栄化成工業(株)
山田金属防蝕
倉敷ボーリング機工(株)
有明高専 テクノセンター
(株)黛

インタープロジェクト(株)
小山電工社(自営)
県警
有明高専専攻科
九州工業大学
熊本大学
豊橋技術科学大学
佐賀大学
東京農工大学

建築学科

西松建設(株)
㈱濱岡建設
㈱竹中工務店
松尾建設(株)
(有)吉田住建
タマホーム(株)
日進防火板工業(株)
㈱アダル
日本ビゾー(株)
YKKアーキテクチャラブルダクト(株)
㈱クロサキ
トステム(株)

日本オーチスエレベータ(株)
コクヨエンジニアリング(株)
大阪ガス(株)
那の津壽建築研究所
(株)NTTファシリティーズ
(株)高巣設計事務所
(株)建設技術センター
(株)匠建築研究所
有明高専専攻科
長崎大学工学部
熊本大学工学部
愛知県立大学

応用物質工学専攻

沢井製薬(株)
室町ケミカル(株)
㈱ジーンネット
九州工業大学大学院

建築学専攻

㈱松尾設計
久留米市役所
サンワ工務店
(株)キエーハウ



成績優秀者

M 森 田 大 輔
E 吉 谷 友 輔
I タンミョーチュン
C 横 田 通 子
A 西 山 敏 史

学会表彰

日本機械学会 島山賞
電気学会 九州支部長賞
電子情報通信学会 九州支部長賞
日本化学会 九州支部長賞
日本建築学会 九州支部長賞
前川良平
今村英樹
中山英満
横尾栄弘
三山容弘

5年間皆勤賞

(卒業に至るまで、授業・SHRとも欠席、欠課、遅刻及び早退が皆無の者)

M 前 川 良 平	C 岸 本 雅 樹	C 古 賀 詩 織
E 野 中 征 二	C 渡 邊 宏 章	C 清 富 啓 介
C 大 倉 佳 子	C 横 尾 栄 満	A 清 田 智 子

留学生精勤賞

E ジ エ イ
I タ

5年間精勤賞

(卒業に至るまで、授業の欠席日数が5日以内で、かつSHRの欠課あるいは遅刻が30回以内の者)

M 足 立 崇	M 友 岡 康 祐	E 広 松 敏	I 田 中 拓 己	C 石 川 真 弓
M 上 田 茂 樹	M 鍋 田 治 利	E 松 藤 伸 也	I 中 山 英 明	C 伊 藤 歩
M 岡 優 邦	M 真 武 主 命	E 山 崎 峰 翔	I 堤 誠 典	A 西 川 美 耶
M 加 藤 久	M 森 田 大 輔	E 山 本 邦 博	I 俣 嶋 一 克	A 黒 木 佳 奈
M 古 賀 敏 夫	M 東 大 樹	E 吉 谷 友 輔	C 松 岡 い づ み	A 月 岡 明 菜 美
M 田 島 也 考	E 梅 崎 慎 吾	E 吉 野 琢 也	C 山 本 美 恵	A 松 瀬 浩 志
M 田 中 圭 介	E 柿 原 亞 邦	I 坂 口 直 剛	C 横 田 通 子	

学生表彰

*学年学科は平成14年度時



()内の数字は精勤者数

1M 21 (9)	優人郎 喜翔行 雄美耶 介陽 博三 見郎 彦史 仁平 志 真真太 大貴義 孝絵 秀俊 和隆拓 太芳裕 智真貴 木崎島 野藤田 賀藤崎 先山田 永木口 俊 荒岩浦 笠加鎌 古齋篠鋤陶 多徳長 西前松宮村 横吉	1E 11 (7)	文衣理 隆美郎 大光郎 里宗里 加望輝洋 智美由文 紹 田木佑 一由義英理 裕向 上元村 口子 島宿々 木田中嶠 原田中 井井植角 金樺川 佐高 高田津堤 西野野
1E 25 (12)	二峻 宏輔 一翔智 平梨康 研 隆大春 大恭明 雅	研 隆大春 大恭明 雅	秋池 池浦江 岡吉限 小古



本校は、14年度も日本英語検定協会から奨励賞を受賞しました。これは、実用英検に積極的に取り組み、実用英検を意欲的に英語教育に活用した団体に与えられる賞です。平成14年度の英検合格者は、準2級が84名、2級が2名でした。工業英検では、4級に180名、3級に3名が合格しました。

また、平成15年度の後期から、TOEICとTOEIC BRIDGEのIPテストを本校で受験できるように準備をしています。簡単な手続きで試験が受けられます。この試験は、今後英語の運用能力を証明するグローバルスタンダードの試験として社会に定着することが考えられます。一生懸命英語を勉強し、TOEICとTOEIC BRIDGEに挑戦してください。

第3回 合格者名簿

2 級

準2級

2-1	中島梨江	1E	水室貴大
3A	西川秀一	古庄啓太郎	
		1I	野田祐輝
		2-2	相浦一博

2-2	大曲新矢	2-4	小坂弘幸 田真愛二郎	2-5	江崎匡志 遠藤優介 森祐生	3I	野田薰 森一樹
2-3	有動未奈子 中島優作 肥後智也		益森吉 本翔丸 眞太郎 美紗亞	3E	井手秀一 大坪俊古 坪比古	3C	江口啓舞 境
2-4	伊津野大志 川崎誠	2-5	有吉利	3I	古賀綾子		

トピックス

■ 40周年記念事業

本年度、本校は創立40周年を迎えた。また、総合研究棟が竣工しました。それに伴い、様々な事業が催されました。

●記念講演 4/18(金)

西日本新聞社論説委員の中川茂先生をお迎えし、「アジアのライバルに負けるな!!」—フレッシュ感覚で大人社会に刺激を—という演題で講演をしていただきました。



●記念式典 4/19(土)



●総合研究棟竣工式 4/19(土)



●情報処理センター演習室



●図書館エレベータ



●身障者用駐車場屋根

編集後記

208名の新入生、11名の工業高校からの編入生、2名の留学生を迎え、キャンパスが明るくにぎやかになった。いつものうれしい春の光景である。教育に新たな意欲をかき立てられ、心が熱くなる季節もある。新しく迎えた教官、事務官の方々も有明高専での仕事に情熱を燃やしておられる。早く本校に慣れられ活躍されることを祈りたい。

総合研究棟が完成し、専攻科に本拠地ができた。専攻科生の今後の活躍がおおいに期待される。この4月で本校は創立40周年を迎えた。人間でいえば壮年期、一番仕事ができる年代である。独立行政法人化、JABEE受審など変革期を迎え、これからの一一年は本校にとってたいへん重要となるであろう。皆で心して頑張ろう。

有明高専だより 第110号

平成15年6月20日発行

編集：有明高専広報委員会

発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861 (学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>